お弁当でみんなを笑顔に

お弁当＃monemone

代表　吉川美穂子 氏

柏崎市東本町1-15-5
柏崎ショッピングモールフォンジェ
駐車場棟1Ｆ

厳しい寒さも和らぎ始めた三月のお彼岸、フォンジェ駐車場棟にあるかわいらしくてショッキングピンクが目印の「お弁当＃モネモネ」さんに伺いました。

早速、経営者の吉川さんに気になる店名の由来をお聞きすると、開業準備をしていた当時、相談した二女モネさんから「モネモネは？」と一言。調べてみるとカンボジアの言葉で「おいでおいで」の意味があり、その当時ＮＨＫで「おかえりモネ」が放送中もあって、覚えてもらいやすいと言うことが決め手だったそうです。因みに、お店のトレードマークのお弁当のイラストは、大学生の長男の発案だとも。

西山のご出身で、新潟市の県立の短期大学で保育士免許取得後、福祉の仕事に興味を抱き、当時県内では見附にしかなかった乳児院に勤務。結婚を機に柏崎に戻りました。それから市内の救護施設に三十歳迄務め、後にアルバイトでスナックのお仕事を経験します。未知の世界で様々な業界の方との出逢いがあり、三十七歳でジュノンを経営。昨年十二月六日に「お弁当＃モネモネ」をオープンしました。

若い頃から料理本を多数読む程の料理好き！今ではスマホでレシピを研究し、楽しくて厨房に何時間でも籠って没頭していることも多いとか。メニューは全て手作りに拘ってます。リピーターの方も多い為飽きないようにと日替わり弁当も充実しており、お値段もなんと五百円ポッキリです。御飯の上の三種の漬物にも細やかな心配りを感じます。

単品のお惣菜も豊富です。一番人気は「油淋鶏」、たまたま取材当日、油揚げを開き挽肉等を巻いて煮た「信田巻き」が初登場、その他「サバ煮」「春巻」「コロッケ」「鰊入り煮物」等々、量り売りしています。

お休みは何をの問いに「常に明日の献立考えてます」と即答！大好きなゴルフも今は休止中、大変だけれど楽しいのだそうです。

開店から四ケ月、早朝三時から来てくれるスタッフもいて、今では調理を任せられる程に。朝七時～夜八時迄営業しています。週末には子供会、大会等の注文も増え、また電話でメニューの要望も承るそうです。「大々的な宣伝をして仕事が疎かになっても」と吉川さん。控え目な中にも熱意を感じます。そんな人柄が、買い求めるお客様やスタッフの心を掴んでいるのだと思います。

今後の目標をお尋ねすると「食は大事な事、料理作りが困難な高齢者の方達にも季節の旬の食材を使った家庭料理を味わってもらいたく、福祉事業を展開していきたい」その為にハイリスクとわかっていながらも諦め切れず、今がその体勢を整える第一歩として「＃モネモネ」のオープンに至ったのだそうです。この実現には友人、お客様、スタッフ、そして家族の支えがあってこそと感謝も忘れません。

スナックの経営と福祉への思いと、一見異なる二つの顔が調和された、パワフルでとても魅力を感じられた取材となりました。（十人衆 ㊨・㊦ 取材）

なじょだね取材先事業所ＰＲコーナー

モネモネ
お弁当 #monemone

地産地消、手作りにこだわって皆様の食卓のお手伝いをさせていただきます。弁当、惣菜、オードブル、会食用お弁当、各種お値段と内容のご要望をお聞きしながらご予約、配達を承ります。どうぞお気軽にお問合せください。

☎0257-32-4315（ご予約用）
柏崎市東本町1-15-5（旧キッチンポテト様）
月曜～金曜▶7:00～20:00　土曜▶10:00～18:00
日曜祝日定休日（ご予約相談承ります）